令和7年度

事業所における自己評価総括表（公表）

COMPASS 発達支援センター佐賀中央

○事業所名	COMPASS発達支援センター佐賀中央			
○保護者評価実施期間	令和7年　9　月　10　日		～	令和7年　9　月　26　日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	18	（回答者数）	18
○従業者評価実施期間	令和7年　9　月　5　日		～	令和7年　9　月　16　日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　10　月　17　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	部屋数が多く、個別での療育ができる環境が整っております。	支援ごとに部屋を分けることで、利用児童に合った環境を整備できるようにしております。	活動ごとに部屋を分けることで、部屋に入ったタイミングで児童が場面の切り替えができるよう工夫しております。
3	多くの職種が在籍しており、さまざまな分野からの支援が可能な体制となっております。	朝礼や月に一度の会議の際には、支援計画をもとに全職種で情報共有を行い、児童一人ひとりに対して統一した支援ができるよう努めております。	午前中や児童の利用がない時間帯を活用し、職員間で専門的な知識の共有をおこなうことで、支援に対する意識の統一を図っております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物が2階建てのため、階段があり、年齢の低い児童の上り下りには見守りが必要となっております。	手すりを設置し、上り下りの際には職員が必ず付き添うことで、事故の無いよう努めております。	階段の入り口には児童用の扉を設け、一人での上り下りが起こらないよう対策を講じております。
2			
3			

公表日：令和 8 年 3 月 26 日